

Roborock Saros 10

ロボット掃除機 取扱説明書

ご使用になる前に本取扱説明書をよく読み、大切に保管してください。



目次

04	安全上のご注意
07	国際記号の説明
08	製品概要
10	使用前の準備
11	アプリへの接続
11	操作方法
14	お手入れ
18	バッテリーの取り外し
19	基本仕様
20	よくあるご質問
23	お問い合わせ先と保証情報
24	保証書
25	保証規定

安全上のご注意

本書には製品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。本書はすぐに参照できるようお手元に保管してください。

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を区分し、以下の通り説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある」内容
 注意	「軽傷を負う、または物的損害を負う可能性がある」内容

以下の記号で使用上お守りいただく内容を説明しています。

 してはいけない内容	 しなければならない内容
--	--

■ 本体

警告

- ⊗ 電気カーペット、温冷送風機、フットスイッチなど床面付近に操作部がある機器の近くで使用しないでください。(誤作動の原因)
- ⊗ 周囲温度が40℃以上または4℃未満の環境や、トイレ、風呂場などの水回りで使用しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 乳幼児や子どもを含む、自分で意思表示できない人や、自分で操作できない人には、使用させたり遊ばせたりしないでください。(けがの原因)
- ⊗ 水洗い・水拭き可能と記載された箇所を除き、お手入れに濡れた布や液体を使用しないでください。(感電・故障の原因)
- ⊗ 本製品をろうそく、線香、たばこの火、ストーブなど火気のある場所では使用しないでください。(火災の原因)
- ⊗ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ⊗ タバコ、マッチ、熱い灰など、燃えているものや煙が出ているものを吸い上げないでください。(火災の原因)
- ⊗ 本製品を濡らさないでください。充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- ⊗ 灯油、アルコール、シンナー、コピー紙のトナーなど引火性のあるもの、油分や他社洗剤などは床から取り除き、吸い上げないでください。(火災の原因)
- ❗ 本製品を掃除またはメンテナンス(ダストボックス・ゴミ収集ボックスの清掃を除く)する前に、電源を切ってプラグをコンセントから抜いてください。(感電・火災の原因)
- ❗ 本製品のドックは、14.4 V/6400 mAh (公称容量) リチウムイオンバッテリーを搭載した本体の充電のみ使用可能です。

注意

- ⊗ 本製品は、室内床掃除用に設計されています。屋外や、床ではない家具などの表面、商業または産業環境では使用しないでください。(破損の原因)
- ⊗ 落下防止柵のない、ロフトや家具の上などの高い場所で本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- ⊗ 産業廃棄物、ガラス、釘などの硬いものや尖ったものの掃除に使用しないでください。(破損の原因)
- ⊗ 本体に乗ったり、重いものを乗せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(破損・傷つきの原因)
- ⊗ 衣服や、髪、指などの身体部位を本体の開口部、可動部、吸引口に近づけないでください。(けがの原因)

- ⊗ 本体とドックの上に座ったり、立ったりしないでください。(けがの原因)
- ⊗ 腐食や損傷を防ぐため、Roborock指定外の洗剤、お湯、除菌剤を洗剤タンクに入れないでください。(破損の原因)
- ⊗ 階段や段差のある場所には、靴やマットなどの物を置かないでください。センサーの誤作動によって本体が転倒する可能性があります。(故障・破損の原因)
- ⊗ 本体で水を吸引させたり、水がこぼれているところで使用しないでください。(故障の原因)
- ⊗ ドックの吸引口の近くに物を置かないでください。(故障・破損の原因)
- ⊗ 本体とドックの上に子どもやペット、物を乗せないでください。カバー(防塵カバー)などをかけないでください。(けが・故障の原因)
- ⊗ エアダクトを詰まらせる可能性のある小石、紙くず、その他詰まらせる物を吸い上げないでください。(故障の原因)
- ⊗  ドックのモップ洗浄エリアの給水口または乾燥時の排気口は触らないでください。(熱湯による火傷の恐れ)
- ⊗ 乳幼児や子どもが寝ている部屋で本製品を稼働させないでください。(けがの原因)
- ❗ 本製品は取扱説明書に従って使用してください。不適切な使用に起因する損失または損傷については、Roborockはその責を一切負わないものとします。
- ❗ 本製品の使用前に、他の製品のコードが掃除機によって引っ張られないよう片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本製品の動作の妨げになったり、本製品が周囲の物を破損したりしないよう、掃除の前に、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものや、花瓶などの壊れやすいものを床から片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本体とドックを移動させるときは、両手でしっかり持って運んでください。本体は上部の圧力センサー、マグネット式本体カバー、サイドブラシN2、バンパー、壁キワ用モップクロスで持ち上げないでください。ドックは、ベースステップ、清水と汚水タンクのハンドル、ドックカバー、ゴミ収集ドック用カバーで持ち上げないでください。(落下によるけが・床面の傷つき・本体の破損の原因)
- ❗ 火気、熱源、水気のない平らな床の上に本製品を設置してください。狭い場所に置いたり、宙吊りになるような場所に設置しないでください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ❗ ご使用前に、各部品が所定の位置に取り付けられていることを確認してください。部品の詳細はP.9をご確認ください。
- ❗ 本体を長期間使用せずに保管する場合、フル充電し電源を切って涼しく湿度のない環境に置いてください。バッテリーが過剰放電しないように、少なくとも3か月に1回は充電してください。(故障の原因)
- ❗ 本体がドックと互換性があることを確認してください。互換性がない場合はゴミ収集や充電などに失敗します。(故障の原因)
- ❗ 毛足の長いカーペットでは使用しないでください。色の濃いカーペットの場合、掃除効率が低下する場合があります。(故障・破損の原因)
- ❗ おもちゃとして使用しないでください。お子様が使用する場合、またはお子様の近くで使用する場合は、十分にご注意ください。
- ❗ ゴミ収集ドック用使い捨て紙バックが取り付けられていない状態で使用しないでください。
- ❗ 製品に不具合が発生しているときは、使用しないでください。必要に応じてカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
- ❗ 製品の過熱を防ぐため、常に換気の良い環境で操作をしてください。

■ バッテリーと充電

警告

- ⊗ 指定の製品以外を充電しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ⊗ 充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)

- ④ ドックを濡れた布で拭いたり濡れた手で触れたりしないでください。(感電・故障の原因)
- ④ 不用意にリセットによって、8way全自動ドックの内部温度が安全水準を超えてしまう危険を防ぐため、8way全自動ドックを電源関連のタイマーや、電源のオン/オフを定期的に行う電源回路へ接続する外部デバイスなどには接続しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 電源電圧が、本製品に記載されている要件を満たしていることを確認してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 本製品の充電には、付属のドック (モデル: EWFD32LRR) またはRoborockが指定するドックのみを使用してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 付属している電源ケーブルのみを使用してください。(破損・火災の原因)
- ❗ 本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ❗ 電源コードが損傷した場合は、直ちに使用を止め、カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。(感電・発火の原因)
- ❗ バッテリーを取り外すときは、本体をドックから取り外し、電源をオフにしてください。バッテリーの取り出し手順は、P.18をご覧ください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 感電を防ぐため、必ず正しく接地された電源コンセントを使用してください。適切な装置がない場合は、電気工事士にご相談ください。電気工事士の有資格者がD種 (第3種) 接地工事をするよう、法令で定められています。(感電の原因)
- ❗ リチウムイオン電池が搭載されているため、本製品を廃棄するときは、お住まいの自治体を通して廃棄またはリサイクルしてください。(感電・発火の原因)
- ❗ 雷の影響を受けやすい場所や電圧の不安定な場所にドックを設置するときは、保護装置を装着してください。(感電・発火の原因)
- ❗ 本製品を輸送するときは、購入時の梱包状態のままでの状態をおすすめします。電源を切り、ドックにある清水タンク、汚水タンクにある水を捨ててください。洗剤タンクの洗剤を捨て、水洗いをしてから乾燥させてください。(故障の原因)
- ❗ 発煙、発熱、発火の恐れを防ぐため、バッテリーや充電器、電源コード、ドック、その他のアクセサリは必ず本製品に付属のものを使用してください。

■ 内蔵無線LAN使用上のご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、本製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
 - a. 産業・科学・医療用機器 (電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど)
 - b. 免許を要しない無線局 (特定小電力無線局)
 - c. 免許を要する無線局 (工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局)
 以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

■ レーザーの安全性に関する情報

本製品のレーザー距離測定センサーは、IEC 60825-1:2014のクラス 1レーザー製品規格に準拠しており、危険なレーザー放射は行いません。

■ アース線の取り付け

アース線を取り付けてください。

- 万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行ってください。
- ご不明な点は電気工事店にご相談ください。

コンセントにアース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。



コンセントにアース端子がない場合

アース工事をしてください。

注意：

- アース工事はすべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行ってください。
- ご不明点は電気工事店にご相談ください。

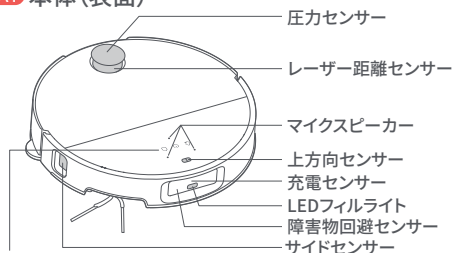
国際記号の説明

⚡ 記号 IEC 60417-5019 保護接地

△-室内でのみ使用可能です。水に濡らさないでください。

A 製品概要

A1 本体(表面)



🏠 水拭き掃除のみ/チャイルドロック

- 押すと、水拭きを開始します
- 長押し(3 秒)すると、チャイルドロックのオン/オフが切り替わります

🔌 電源/掃除

- 長押しすると、本体のオン/オフが切り替わります
- 押すと、掃除を開始します

電源ランプ

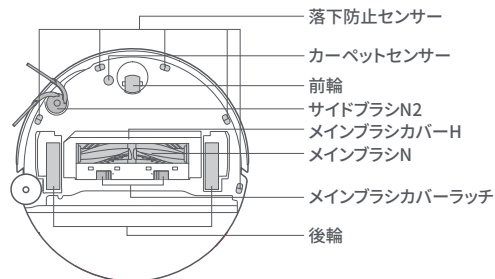
- 白: バッテリー残量が15%以上
- 赤: バッテリー残量が15%未満
- 点滅: 充電中または起動中
- 赤色に素早く点滅: エラー
- 赤と白が交互に点滅: リモートビューイングまたは見守りを起動中

🏠 ドック

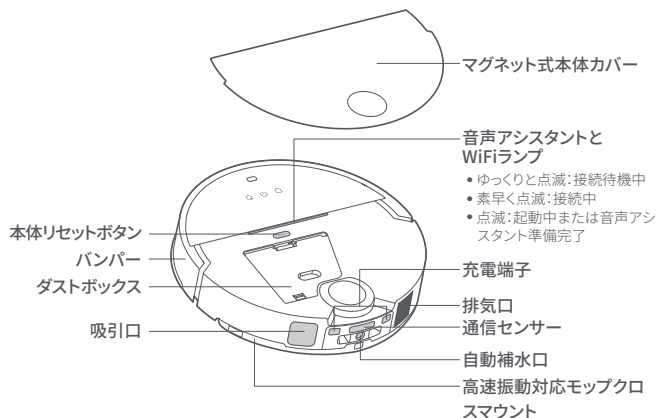
- 本体がドックに入っていないとき: 押すと、ドックに戻ります
- 本体がドックに入っているとき: 押すと、ゴミ収集を開始/長押しすると、モップクロスを洗浄します

注意: いずれかのボタンを押すと、本体は動作を一時停止します。本体が家具などの下を掃除している場合は🏠を1回押してから🏠2回押すと一時停止します。

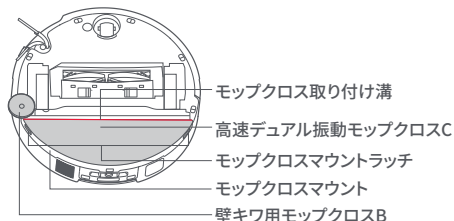
A2 本体(裏面及びセンサー)



A3 本体(マグネット式本体カバー取り外し時)



A4 高速振動対応モップクロスマウント



A5 高速デュアル振動モップクロスC

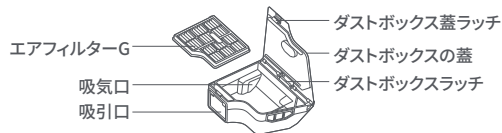


注意: モップクロスを所定の装着面に正しく取り付けてください。

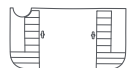
A6 壁キワ用モップクロスB



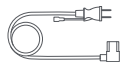
A7 ダストボックス



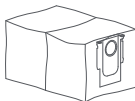
A8 ベースステップ



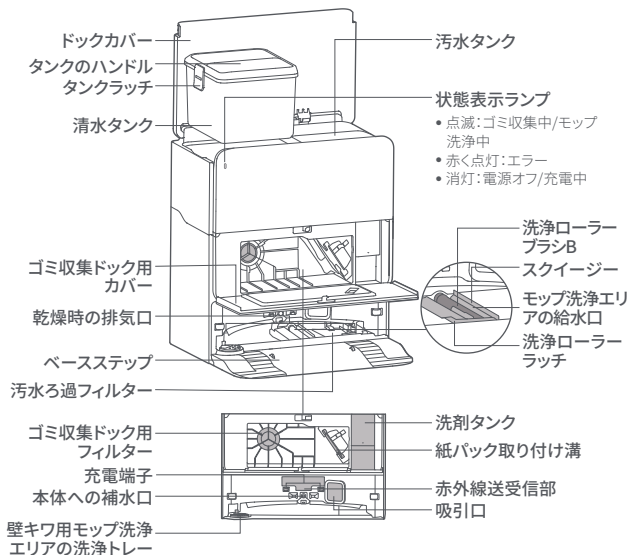
A10 電源ケーブル



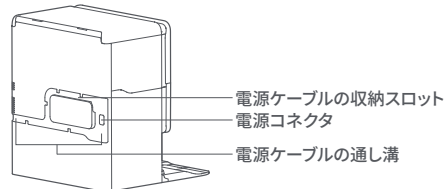
A9 ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックC (ドックに装着済み。予備も同梱されています。)



A11 8way全自動ドック



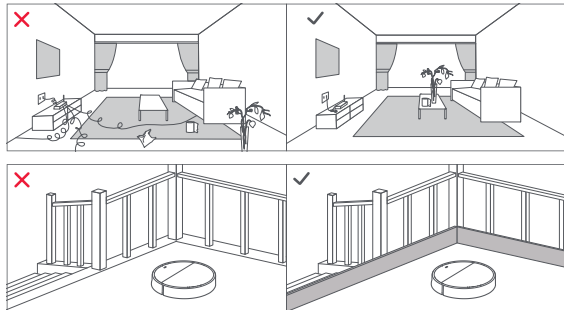
A12 8way全自動ドック(背面)



注意: 電源ケーブルは左右どちらからでも出せます。

B 使用前の準備

⚠ 重要



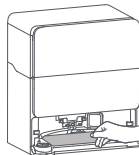
1. 本製品を使用する前に、貴重品、割れやすい物、ケーブルなどの掃除機の動作を妨げるもの、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものを床から片づけてください。
2. 落下防止センサーが搭載されていますが、怪我や家具と本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください。

注意:

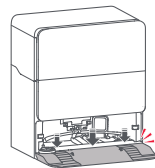
- 初めて使用するときは、障害物などに注意しながら本体の走行状況を確認してください。その後は、本体だけで掃除させることができます。
- 本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。

B1 ドックの組み立て

1. ドックを組み立てる前に、緩衝材を取り外してください。

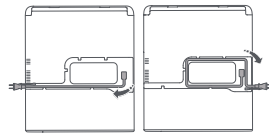


2. ベースステップの両側をしっかりと押さえ、中央接続部分をカチッと音がするまで押して、ベースステップを取り付けます。



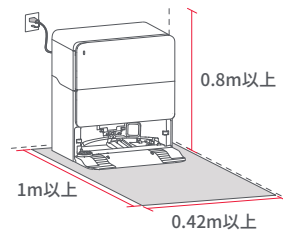
3. 電源ケーブルをドックの背面に接続し、余分なケーブルは収納スロットに収納します。

注意: 電源ケーブルは左右どちらからでも出せます。



B2 ドックの設置

ドックを硬く平らな床（フローリング/タイル/コンクリートなど）に設置します。幅に0.42m以上、上に0.8m以上、奥行に1m以上の間隔を開けてください。設置場所がWiFiルーターの近くなど電波の届きやすいエリアであることを確認して、コンセントにつないでください。



注意:

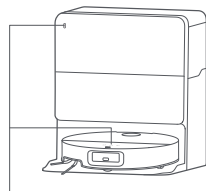
- 電源ケーブルが床に対して垂直に垂れ下がっている場合、本体に引っ掛けてドックが移動したり、電源がきれてしまうことがあります。電源ケーブルは収納スロットに収納してください。
- 状態表示ランプは、ドックの電源が入っている場合は点灯し、本体が充電中の場合は消灯します。
- エラーが発生すると、状態表示ランプは赤に変わります。
- 火、熱、水から離れた、平らな床の上にドックを設置してください。狭い場所に置いたり、本体が宙吊りになるような場所に設置することは避けてください。
- 柔らかい場所（カーペット/マット）にドックを置くと、ドックが傾き、本体がドックに戻るときやドックから離れたときに不具合が発生する可能性があります。

- 直射日光の当たる場所や、赤外線送受信部を遮る物がある場所にドックを置かないでください。そのような場所にドックを置くと、本体がドックに戻れなくなる可能性があります。
- 清水タンク、汚水タンク、洗浄ローラーブラシB、ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックC、壁キック用モップ洗浄エリアの洗浄トレー、洗剤タンク、汚水ろ過フィルターを取り付けられない状態でドックを使用しないでください。
- ドックのお手入れを行うときは、本書の記載に従ってください。濡れた手でのお手入れ、濡れた布やティッシュでドックの電源ケーブル、充電端子のお手入れをしないでください。
- 生産時の品質検査のため、水が残っている場合があります。異常ではありません。

B3 本体の電源を入れ、充電を行う

① ボタンを長押しすると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯してから、本体をドックの前に置きます。本体の□ボタンを押すと、自動でドックに戻ります。バッテリーの性能を維持するためには、通常の使用では本体を常に、充電したままにしてください。

注意： バッテリー残量が足りないときは、本体の電源を入れることができません。直接ドックに置いて充電させてください。



充電が始まるとドックの状態表示ランプは消灯し、本体の電源ボタンが点滅します。

G アプリへの接続

C1 アプリをダウンロードする

App StoreまたはGoogle Playで「Roborock」と検索するか、QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードしてください。



C2 WiFiをリセットする

Q ボタンおよび□ボタンを、「WiFiをリセットします」という音声案内が流れるまで長押しします。音声アシスタントとWiFiランプがゆっくりと点滅したら、リセットは完了です。

注意： WiFiルーター関連の変更、パスワードを忘れた場合、スマートフォンが接続できなかったときは、WiFiをリセットしてからもう一度ロボット掃除機を追加してください。

C3 デバイスを追加する

Roborock アプリを開き、「デバイスを追加」または「+」をタップし、アプリに表示される案内に従ってデバイスを追加します。

注意：

- アップデートにより、アプリの画面や仕様が変更される場合があります。必ずアプリの案内に従って操作してください。
- この製品は、5GHzのWiFiのネットワークには対応していません。2.4GHzのWiFiネットワークをご利用ください。
- WiFiルーターのバンドステアリング機能により「G (g)」または「A (a)」が表示されずに接続できる場合もあります。詳細はお使いのWiFiルーターをご確認ください。
- ロボット掃除機が5分以上待機状態が続くと、WiFiは自動的に無効化となります。再接続する場合、接続する前にWiFiをリセットしてください。

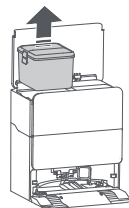
D 操作方法

D1 清水タンクの給水

ドックカバーを開けます。清水タンクのハンドルを持ち上げ、清水タンクを外してから、蓋を開けて水道水を入れます。蓋を閉めてラッチをロックし、清水タンクをドックに戻します。

注意：

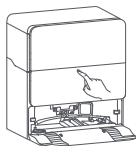
- 変形を防ぐため、冷たい水道水のみ使用ください。
- 腐食や損傷を防ぐため、お湯、除菌剤を清水タンクに入れないでください。
- 清水タンクに洗剤を入れないでください。
- 清水タンクに水垢が残っている場合は、きれいに拭き取ってから再度取り付けてください。



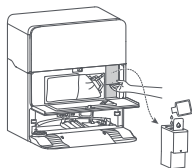
D2 洗剤タンクの使い方

1. ゴミ収集ドック用カバーを押して開けます。洗剤タンクを取り外します。

注意: 破損を防ぐため、ゴミ収集ドック用カバーを引っ張って開けないでください。



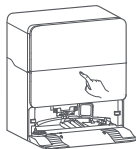
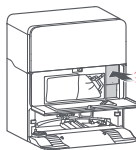
2. 洗剤を洗剤タンクに入れ終わったら、洗剤タンクの蓋を閉めてください。



3. 洗剤タンクがカチッと音がするまで、元の位置に取り付けます。最後にゴミ収集ドック用カバーを閉めます。

注意:

- 洗剤タンクが完全に取り外されていることを確認してから洗剤を入れてください。
- 腐食や損傷を防ぐため、Roborock指定外の洗剤、お湯、除菌剤を洗剤タンクに入れないでください。
- 設定によって本体のモップ洗浄用の水量と水タンクへの補水量を自動に判断して洗剤を自動投入します。
- 洗剤は別途購入が必要です。
- 洗剤なしでも水拭き掃除が可能です。
- アプリで洗剤の自動投入を無効に設定することができます。



D3 オン/オフ

⏻ ボタンを押し続けると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯し、本体はスタンバイモードに切り替わります。⏻ ボタンを押し続けると、電源が切れ、進行中の掃除が終了します。

注意: 充電中は、本体の電源を切ることはできません。

D4 掃除の開始

⏻ ボタンを押して、掃除を開始します。本体は掃除をしながら部屋をスキャンしてマップを生成し、そのマップに基づいて適切な掃除経路の計画を立てます。まず壁に沿って外周を掃除し、次に折り返し回数が最小になるようにZ字ルートで掃除します。

注意:

- 掃除の前に、床にあるコード(ドックの電源コードなど)や大切なものを片付けてください。本体が散乱物を引きずると、電化製品が切断したり、コードや物が破損したりすることがあります。
- 掃除を開始する前に、モップクロスが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 自動で掃除を行い、ドックに戻るためにはドックから掃除を開始してください。掃除を行っている際はドックを動かさないでください。
- バッテリー残量が極端に低下している場合は掃除を開始できません。充電してから掃除を再開してください。
- 掃除が完了する前にバッテリーがなくなった場合、本体は自動的にドックに戻って充電を開始します。充電が完了すると、中断したところから掃除を再開します。
- 10分以内に掃除が完了した場合、そのエリアは2回掃除されます。
- カーペットを吸引するときは、モップクロスマウントを持ち上げて吸引掃除を行います。アプリでカーペットを進入禁止エリアとして設定した場合、カーペットを回避しながら吸引掃除を行います。

D5 スポット掃除

Qと⏻を同時に押すと、スポット掃除が開始されます。

このモードでは、本体を中心とした1.5m 四方のエリアを掃除します。掃除後は、開始地点に戻りスタンバイモードになります。

注意: 一時停止の状態ですポット掃除を開始すると、進行中の掃除が終了します。

D6 水拭き掃除のみ

Q ボタンを押すと水拭き掃除のみが開始されます。メインブラシとサイドブラシが上がり、メインブラシとファンの動作が停止します。モップクロスマウントが下がります。

注意: 動作音は水拭き掃除モード時のほうが吸引掃除より低くなっています。

D7 一時停止

いずれかのボタンを押すと、本体は動作を一時停止します。本体が家具などの下を掃除している場合は $\cup$ を1回押してから $\cup$ 2回押すと一時停止します。掃除を再開するときは $\cup$ を押します。一時停止中の本体の $\square$ を押すと、ドックに戻ります。 $\square$ を長押しすると、モップクロスの洗浄を開始し、洗浄が終わると、掃除を再開します。

注意：一時停止している本体を手動でドックに接続すると、進行中の掃除が終了します。

D8 スリープ

本体は10分以上動作しないと、スリープモードに入り、電源ランプがゆっくりと点滅します。いずれかのボタンを押すと、スリープモードは解除します。

注意：

- 充電中はスリープモードにはなりません。
- 12時間以上スリープモードのままになっている場合、本体の電源は自動的にオフになります。

D9 モップクロスの洗浄

本体は掃除中に、モップクロスの洗浄と水タンクの給水をするために自動でドックに戻るタイミングを判断します。手動でモップクロスの洗浄を開始する場合は $\square$ を長押しするか、アプリから操作します。本体のいずれかのボタンを押すと、モップクロスの洗浄は停止します。

注意：

- 自動でモップクロスを洗浄させるためには、ドックから掃除を開始させてください。掃除中はドックの移動はさせないでください。
- モップクロスの洗浄頻度と洗浄モードはアプリから設定ができます。
- ドックのモップ洗浄エリアの給水口は触らないでください。(熱湯による火傷の恐れ)

D10 自動ゴミ収集

本体は掃除が終了するとドックに戻り、ゴミの自動収集を開始します。手動でゴミ収集を開始する場合は、ドックにある状態で、本体の $\square$ を押すか、アプリの「ゴミ収集開始」をタップしてください。ゴミ収集を停止する場合は、本体のいずれかのボタンを押します。

注意：

- 自動ゴミ収集を長期間無効にしていた場合は、本体のダストボックスのゴミ捨てを行い、吸気口のゴミを取り除くことで、最適な性能が発揮されます。
- 必要に応じて、アプリで自動ゴミ収集を無効にすることができます。
- 手動でのゴミ収集は頻繁に行わないでください。
- ゴミ収集ドック用カバーを開けたまま使用しないでください。ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックを取り付けずに使用しないでください。

D11 乾燥

掃除が完了した後やモップクロスの洗浄後、自動的にモップクロスを乾燥します。手動で乾燥を開始、または停止するには、アプリの「モップを乾燥」ボタンをタップします。

注意：

- 乾燥中はドックの排気口を触らないでください。
- 乾燥時間はアプリで変更できます。
- 自動乾燥はアプリで無効にすることができます。

D12 充電

自動：掃除後、本体は充電のため自動的にドックに戻ります。
手動：一時停止している状態で、 $\square$ ボタンを押すと、本体はドックに戻ります。
本体が充電されると、電源ランプはゆっくり点滅します。

注意：ドックを見つけれない場合、本体は掃除を開始した地点に戻ります。本体を手動でドックに接続し充電してください。

D13 おやすみモード

おやすみモードの初期設定時間は、22:00～08:00です。アプリからおやすみモードの無効と設定時間を変更することができます。おやすみモードを設定すると、設定した時間内の自動充電後の掃除の再開や自動ゴミ収集、自動乾燥などを無効にすることができます。ランプを暗くしたり、音声の音量を下げる設定もできます。

D14 チャイルドロック

Q ボタンを3秒長押しする、またはアプリからチャイルドロックのオン/オフができます。チャイルドロックがオンになっていると、本体が停止しているときに、すべてのボタンがロックされます。本体が掃除中やドックに戻るときには、いずれかのボタンを押すと本体は停止します。本体が家具などの下を掃除している場合は、 を1回押してから  2回押すと一時停止します。

D15 エラー

エラーが発生した場合、本体の電源ランプが点滅し、ドックの状態表示ランプが赤色に点灯します。アプリに通知が届き、音声案内に従って操作してください。

注意:

- エラーのまま未操作の状態が10分間続くと、本体は自動的にスリープモードに切り替わります。
- エラー状態のときに、本体がドックに接続されると、進行中の掃除は終了します。

D16 システムリセット

ボタンが反応しない、または本体の電源が切れない場合は、本体リセットボタンのカバーを取り外し、つまようじなどを用いて、本体リセットボタンを押してリセットしてください。リセット後に本体が再起動します。

注意:

- リセットすることにより、タイマー、WiFi及びその他関連設定もリセットされます。
- 本体リセットボタンの位置は、8ページを参照してください。

D17 工場出荷時の状態に戻す

システムリセットをしても改善しない場合は、本体の電源が入った状態で、 ボタンを長押ししながら、リセットボタンを1回押してください。 ボタンを離さず「バージョンを復元しています。5分程かかります。しばらくお待ちください。」という音声案内が鳴るまでお待ちください。電源ランプの点滅がゆっくりしたら完了です。

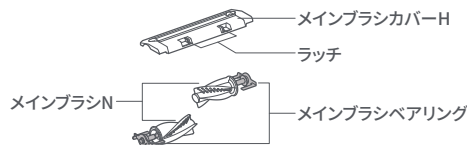
E お手入れ

注意:

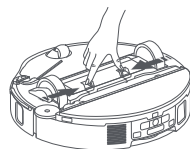
- お手入れする際は、ドックのコンセントを抜き、本体の電源をオフにしてから行ってください。
- 交換する頻度は実際の使用状況によって異なる場合がございます。アクセサリーの消耗が激しい場合は早めの交換をおすすめします。

E1 メインブラシ

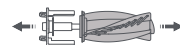
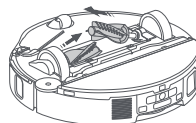
- 2週間に1度掃除し、6〜12か月ごとに交換することをお勧めします。



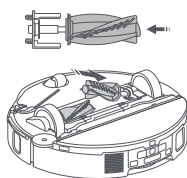
1. 本体を裏返してラッチを押し、メインブラシカバールを取り外します。



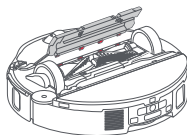
2. メインブラシを持ち上げて引き出し、メインブラシベアリングを取り外します。メインブラシやメインブラシベアリングに絡まった汚れを取り除きます。



3. メインブラシベアリングを元の位置に取り付けてから、メインブラシを本体に取り付けます。メインブラシ、メインブラシベアリングが本体にある矢印の色と一致していることを確認してください。

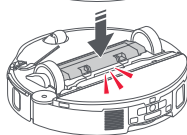


4. 本体の4つの溝に合わせて、メインブラシカバーの凹凸をカチッと音が鳴るまで差し込みます。



注意:

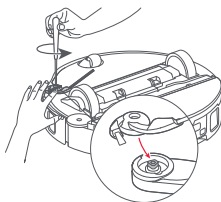
- メインブラシは濡れた布でお手入れすることをおすすめします。直射日光を避けて乾燥させてから取り付けてください。
- メインブラシを洗浄するために、洗剤や除菌洗剤は使用しないでください。



E2 サイドブラシN2

• 月に1度掃除し、3～6か月ごとに交換することをお勧めします。

1. 本体を裏返し、サイドブラシのネジを外します。
2. サイドブラシを取り外して掃除します。サイドブラシの中央にある穴を本体の凸部(図中の矢印箇所)に合わせて元の位置に取り付けてからネジを締めます。

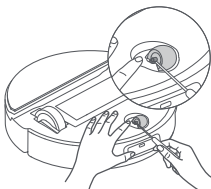


E3 前輪

• 必要に応じて掃除してください。

1. 本体を裏返します。
2. ドライバーなどを使用して、車輪を持ち上げて取り外します。

注意: ブラケットは取り外すことができません。



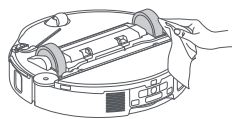
3. 車軸と車輪を水ですすいで、髪の毛や汚れを取り除きます。車軸と車輪を乾かし、ブラケットに押し込んで元通りに取り付けます。



E4 後輪

• 必要に応じて掃除してください。

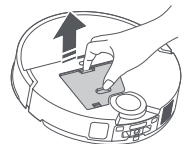
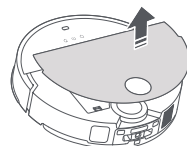
1. 本体を裏返します。
2. 後輪を柔らかい乾いた布を使用し拭いてください。



E5 ダストボックス

• 必要に応じて掃除してください。

1. マグネット式本体カバーを取り外し、ダストボックスのラッチを押しなが取り外します。
2. ダストボックス蓋ラッチをつまみながらダストボックスの蓋を開けます。エアフィルターを取り外し、ゴミを捨てます。



3. 水道水をダストボックスに入れて、エアフィルターを再度取り付けます。ダストボックスを軽く振って洗浄し、汚れた水を捨てます。

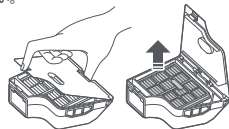
注意： 洗剤など使わずに水道水で洗ってください。

4. ダストボックスとエアフィルターは24時間以上を目安に完全に乾かし、てから取り付けてください。

E6 エアフィルターG

・2週間に1回掃除し、6～12か月に1度交換してください。

1. ダストボックスを開けて、エアフィルターを取り外します。

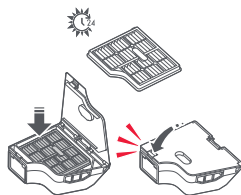


2. 取り外したエアフィルターを繰り返し水ですすいで、フレームを軽く叩いて汚れを落とします。

注意： エアフィルターが損傷する恐れがある為、ブラシなどで強くこすったり手で引っかいたりしないでください。

3. エアフィルターを24時間以上を目安に、完全に乾かしてから取り付けてください。

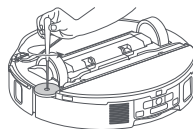
注意： 必要に応じて新しいエアフィルターに交換してください。



E7 壁キワ用モップクロスB

・3～6か月に1度交換してください。

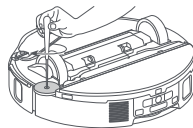
1. 壁キワ用モップクロスの中央にあるネジを取り外します。



2. 壁キワ用モップクロスを洗浄し、24時間以上を目安に乾燥させます。



3. 壁キワ用モップクロスを再度元の位置に取り付け、ネジを締めます。



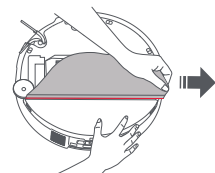
注意：

- モップクロスは8way全自動ドックで、自動で洗浄・乾燥されますので、必要に応じて掃除してください。
- モップクロスがひどく汚れていると、水拭きの効果に影響することがあります。使用の度に洗ってください。

E8 高速デュアル振動モップクロスC

・3～6か月に1度交換してください。

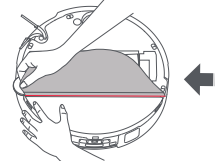
1. モップクロスをモップクロスマウントから外します。モップクロスを洗浄し、乾かします。



注意：

- モップクロスは8way全自動ドックで、自動で洗浄・乾燥されますので、必要に応じて掃除してください。
- モップクロスがひどく汚れていると、水拭きの効果に影響することがあります。使用の度に洗ってください。

2. モップクロスの取り付け溝に沿って、モップクロスをスライドさせながら、元の位置に取り付けます。

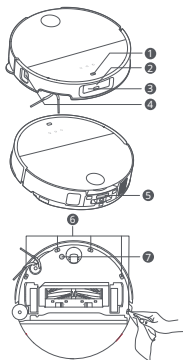


E9 本体のセンサー

＊必要に応じて掃除してください。

柔らかい乾いた布を使用して、以下のセンサーを拭き掃除します。

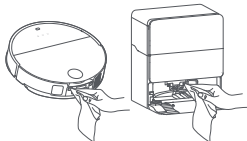
1. 上方向センサー
2. 充電センサー
3. 障害物回避センサー
4. サイドセンサー
5. 通信センサー
6. 落下防止センサー
7. カーペットセンサー



E10 充電端子

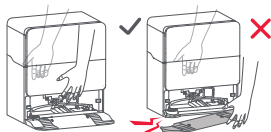
＊必要に応じて掃除してください。

ドックと本体にある充電端子を柔らかい乾いた布を使用して拭きます。



E11 ドックの移動

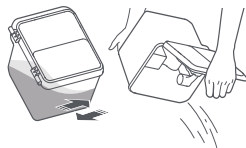
図のように、背面と前面を両手で持ち上げます。ベースステップを持ち上げて運ぶことはできません。



E12 汚水タンク

＊必要に応じて掃除してください。

汚水タンクの蓋を開けて汚水を捨てます。タンクにきれいな水を入れ、蓋を閉めてロックしてから振り、汚れた水を捨てます。蓋を閉めて再度取り付けてください。



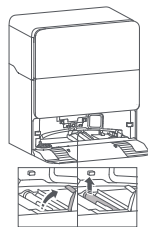
注意:

- ＊変形を防ぐため、冷たい水道水のみ使用ください。
- ＊汚水タンクに水垢が残っている場合は、柔らかい乾いた布で拭き取ってから汚水タンクを取り付けてください。

E13 洗浄ローラーブラシB

＊必要に応じて掃除し、6～12か月に1度交換してください。

1. 図のように、洗浄ローラーのラッチを持ち上げて、洗浄ローラーを取り外します。
2. 洗浄ローラーに絡まったものを取り除き、きれいにすすぎます。洗浄ローラーを再度取り付け、所定の位置にラッチで固定します。

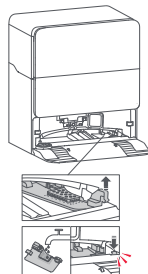


E14 汚水ろ過フィルター

＊必要に応じて掃除してください。

洗浄ローラーの横に汚水ろ過フィルターが図の通りにあります。

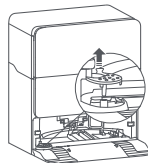
1. 汚水ろ過フィルターのラッチを持ち上げて取り外します。
2. 水洗いし、やわらかい乾いた布でモップ洗浄エリアを拭きます。
3. 汚水ろ過フィルターを再度カチッと言がするまで押して取り付けます。



E15 壁キワ用モップ洗浄エリアの洗浄トレー

＊必要に応じて掃除してください。

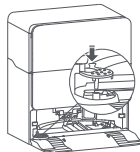
1. 洗浄トレーを取り外します。



2. 洗浄トレーを水道水で洗います。



3. 洗浄トレーを元の位置に取り付けます。

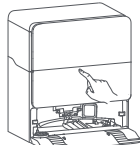


E16 ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックCの交換方法

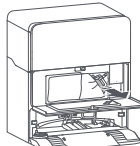
※必要に応じて交換してください。

1. ゴミ収集ドック用カバーを押して開けます。

注意： 破損を防ぐため、カバーを引っ張って開けないでください。

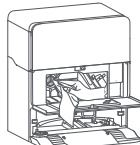


2. ゴミ収集ドック用紙パックを取り外して捨てます。



注意：

- ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックのハンドルで紙パックを取り出すと、紙パックが密閉され漏れを防ぎます。
- ゴミ収集ドック用カバーを開けたまま使用しないでください。ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックを取り付けずに使用しないでください。
- 必要に応じて、アプリで自動ゴミ収集を無効にすることができます。

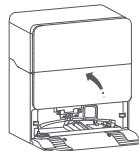


3. ゴミ収集ドック用フィルターは乾いた布で掃除します。新しいゴミ収集ドック用使い捨て紙パックを取り付けます。



注意： ゴミ漏れを防ぐために、しっかり取り付けられていることを確認してください。

4. ゴミ収集ドック用カバーを元の位置に取り付け、しっかり閉まっていることを確認してください。



バッテリーの取り外し

本製品を廃棄する際は、バッテリーを取り出してください。取り出したバッテリーは、貴重な資源を守るために、充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体を通じてリサイクルいただけますようお願いいたします。または、サポートセンターまでお問い合わせください。

バッテリーの取り出し方

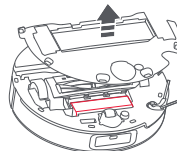
※バッテリーの取り出しは、本製品を廃棄する場合のみ行ってください。

1. 本体の電源を切ります。

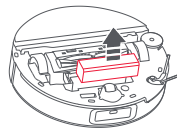
注意：

- バッテリーを取り出す前に、電池が完全に消耗していることを確認してください。
- 本体がドックに接続されている場合は、バッテリーを取り出さないでください。

2. バッテリーカバーのネジを外し、カバーを取り外します。



3. バックルを押してバッテリーのコネクタープラグを引き抜き、バッテリーを取り出します。



注意：

- バッテリーパック全体を取り出してください。
- 電池のショートや液漏れを防ぐために、バッテリーパックを傷つけないでください。
- 電池が液漏れして目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

基本仕様

本体

モデル	S90VER
製品型番	S1052-04(ブラック)/S1002-04(ホワイト)
サイズ	幅:350×奥行:353×高さ:79.8mm
重量	約4.6kg
バッテリー	14.4V/6400mAh(公称容量) リチウムイオン電池
定格入力	20VDC 2.5A

注意：シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

8way全自動ドック

モデル	EWFD32LRR
重量	約11.5kg
サイズ	幅:409 × 奥行:440 × 高さ:470 mm
定格入力電圧	100VAC
定格周波数	50-60Hz
定格入力 (ゴミ収集時)	5.5A
定格入力 (温水モップ洗浄時)	10A
定格入力 (充電と乾燥時)	1.7A
定格出力	20VDC 2.5A

注意：シリアル番号は、ドックの背面に記載されています。

WiFi

プロトコル	802.11b/g/n
周波数帯	2.4GHz

Bluetooth

プロトコル	BLE 4.1
周波数帯	2.4GHz

よくあるご質問

問題	解決策
電源が入らない	- バッテリー残量が低下しています。ご使用前にドックに本体を戻して充電してください。 - バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。本体は4℃～40℃の範囲で使用してください。
充電できない	- ドックが通電していない可能性があります。電源ケーブルが正しく差し込まれているか、充電ランプが点灯しているか確認してください。 - 接続不良の可能性があります。ドックと本体の充電端子を掃除してください。
充電速度が遅い	- 本体を高温または低温環境で使用すると、バッテリー寿命を延ばすために本体の充電速度が自動的に低下します。 - 充電端子が汚れている可能性があります。汚れている部分を乾いた布で拭いてください。
ドックに戻らない	- ドックの近くに障害物がある可能性があります。障害物を取り除いてください。 - 本体がドックから離れすぎています。本体をドックの近くに置いてください。
異常な動作をする	本体を再起動してください。
掃除中のノイズ	- メインブラシ、サイドブラシN2、前輪または後輪に異物が絡まっていると、ノイズが発生することがあります。電源を切って掃除してください。 - 高速振動システムに異常が発生しています。モップクロスマウントが正しく取り付けられているか、または何か異物が詰まっているかを確認してください。

問題	解決策
WiFiに接続できない	- WiFiが無効の可能性があります。WiFiをリセットして、再度試してください。 - WiFiの電波が弱い可能性があります。電波が届きやすい場所において再度確認してください。 - WiFi接続が異常な可能性があります。WiFiをリセットして、最新のアプリをダウンロードして接続を再試行してください。 - 本製品は5GHzのWiFiネットワークに対応しておりません。2.4GHzのWiFiネットワークに接続してください。
本体をドックに接続した状態でも、バッテリーは消耗しますか？	本体がドックに接続されている状態でも、バッテリーはごく少量ですが使用されます。充電し続けることにより、最適なバッテリー性能が維持されます。
初めての使用時から3回目までの充電は16時間以上するの必要はありますか？	いいえ、満充電後はいつでも使用することができます。
充電後に掃除が再開されない	- おやすみモードになっていないか確認してください。おやすみモードに設定した時間内は自動充電後の掃除の再開は行われません。 - 手で本体をドックに接続したり、ボタンを押してドックに戻した場合、掃除は再開できません。
掃除しない箇所があった	サイドセンサー、落下防止センサー、カーペットセンサーが汚れている可能性があります。乾いた布で拭いてください。
吸引力が低下したまたは吸い込んだ埃が落ちる	- ダストボックスがいっぱいの可能性があります。ゴミを捨ててください。 - エアフィルターが詰まっている可能性があります。エアフィルターを掃除してください。 - メインブラシに異物が絡まっている可能性があります。絡まっているものを取り除いてください。

よくあるご質問

問題	解決策
水拭き中に水がほとんどまたは全く出ない	アプリから水量と水拭き強度の設定を行ってください。
スポット掃除または本体を手で移動させた後、ドックに戻ることができない	スポット掃除後、または大幅な位置変更の後、本体はマップを再生成します。ドックが遠くにある場合、本体は充電の為に自動的に戻れないことがあります。本体を手動でドックの近くに置いてください。
掃除予約を実行しない	- バッテリー残量が低下しています。掃除予約はバッテリー残量が15%を超えている場合のみ有効です。 - 電圧エラーです。お住まいの地域や環境の電圧がドックに記載されている要件を満たしていることを確認してください。
ドックの状態表示ランプが赤色に点灯している	- 清水タンクが正しく取り付けられているか確認し、必要に応じて水を追加してください。 - 汚水タンクが正しく取り付けられているか確認し、必要に応じて汚水を捨ててください。 - 汚水ろ過フィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。
ゴミ収集時にゴミ収集機能が低下している、または異常な音がする	- メインブラシまたはメインブラシカバーが正しく取り付けられていません。確認し、正しく取り付けてください。 - エアフィルター、エアダクト、吸引口、吸気口、ダストボックス、ゴミ収集ドック用使い捨て紙バックのいずれかが詰まっています。清掃して詰まりを除去してください。
エラー42の音声案内が流れ、洗浄ローラーブラシがモップクロス洗浄エリアに止まっている	- 洗浄ローラーブラシが清水タンク側で止まっている場合は、洗浄エリアが汚れや異物で詰まっている可能性があります。取り除いてください。 - 洗浄ローラーブラシが汚水タンク側で止まっている場合は、汚水ろ過フィルターが詰まっているか所定の位置に取り付けられていない可能性があります。汚れを取り除き、正しい位置に取り付けてください。

問題	解決策
モップクロスの洗浄力の低下	- モップクロスが正しく取り付けられていません。モップクロスをモップクロスマウントの所定の位置に平らに貼り付けてください。 - アプリよりモップ洗浄モードを「強力」に設定すると、よりきれいにモップクロスの汚れを落とすことができます。
自動でゴミが収集されない	- 自動ゴミ収集が無効になっています。アプリの設定を確認してください。 - ゴミ収集ドック用力バーが閉まっています。確認し、取り付けてください。 - 本体が掃除を行わないと自動ゴミ収集は開始しません。 - おやすみモードで本体がドックへ戻ると、自動ゴミ収集は起動しません。掃除またはおやすみモードの時間を調整するか、ゴミ収集機能を手動で開始してください。 - 手動で本体をドックに戻すと自動でゴミ収集されません。手動でゴミ収集を開始してください。
モップクロスが洗浄されない	- 水拭き掃除を行わないとモップクロスの洗浄は開始されません。水拭き掃除を行ってください。 - 本体をドックから起動して掃除を行うか、アプリ上にドックが表示されているかどうか確認し、再度掃除を行ってください。 - 清水タンク、汚水タンクの取り付け位置を確認してください。必要に応じて清水タンクに水を追加するか汚水を捨ててください。 - 汚水ろ過フィルターが正しく取り付けられているか確認してください。
モップクロスや洗浄エリアが乾いていない	- 自動乾燥機能がオフになっています。アプリからオンに設定してください。自動乾燥機能は、水拭き掃除後またはモップクロス洗浄後のみ作動します。 - 乾燥中にドックから本体を動かさないでください。自動乾燥が止まってしまいます。 - 湿度の高い環境で使用する場合は、アプリから乾燥する時間を長く設定してください。

よくあるご質問

問題	解決策
温水でモップクロス の洗浄ができない	• 洗浄水の温度設定をアプリで確認し、設定してください。
サイドブラシN2が 伸びない	• 四隅の掃除がアプリで有効になっているか確認してください。 • サイドブラシN2は本体が、壁に沿って掃除するときや特定の条件の時のみ伸縮します。 • サイドブラシN2に異物が詰まっていないか確認してください。
壁キワモップ クロスが回転しない	• 壁キワモップクロスに異物が絡まっていないか確認してください。
レーザー距離セン サーが本体に収 納されない	• レーザー距離センサーはソファなど高さの低い家具の下を掃除するときのみ、自動で本体に収納されます。 • レーザー距離センサーに異物が付着していないか確認し、取り除いてください。 • 上方向センサーを拭いてください。
モップクロススマ ウントの自動脱着 ができない	• アプリで、モップクロスマウントの自動脱着機能が有効になっていることを確認してください。 • モップクロスマウントの自動脱着機能は、特定の条件下でのみ適用されます。 • モップクロスマウントにゴミが詰まっていないか確認してください。 • モップクロスマウントが本体に正しく取り付けられていることを確認してください。 • ドックの洗浄エリアに異物が入っていないか確認してください。

お問い合わせ先と保証情報

●お問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。

Roborock カスタマーサポートセンター

TEL: 0120-992-878

Eメール: support@roborock.jp

(営業時間: 10:00~17:00※土日祝除く)

●修理・交換

製品の修理・交換を希望される際は、あらかじめ上記カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

- ご購入後1年の保証期間中に、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常に使用した結果、発生した製品の不良につきましては、無償にて、修理・交換をいたします。修理中の代替機のお貸し出しはしていません。

●初期不良について

- 初期不良における交換期間は、ご購入日より15日間となります。
- 初期不良があった場合は、製品の状態についてカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- カスタマーサポートセンターにて初期不良と判断した場合は、保証書および製品一式（アクセサリ類、外箱含む）を揃えて、ご購入店舗にお持ちください。新品交換にて対応いたします。

※詳細は、保証規定のページをご確認ください。

保証書

モデル： S90VER _____

シリアル番号： _____

本体のシリアル番号をご記入ください。（R から始まる14桁の番号）
シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

ご氏名： _____

保証期間： ご購入年月日より1年間 _____

ご購入日をご記入いただいていない場合、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、保証期間を設定します。

法人名： _____

ご住所： _____

TEL： _____

販売店名： _____

ご購入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

この度はroborock Saros 10をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本保証書はご購入日から上記保証期間中に故障が発生した場合、保証規定に基づき無償交換・修理を行うことをお約束するものです。詳細は保証規定をご確認ください。交換・修理の際は、記載事項が記された保証書をご提示ください。または、購入店舗が発行したレシートや購入が証明ができる書面と保証書をご提示してください。保証書は再発行しませんので大切に保管してください。また、交換・修理対応は日本国内に限ります。

保証規定

1.保証規定の内容

この保証規定は、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常な使用、またそれらに記載された条件下での使用のもとで本保証書記載の保証期間中に故障が発生した場合、本規定に基づきRoborockカスタマーサポートセンターが無償交換・修理を行うことをお約束するものです。また、本規定は本保証書が添付されているroborock Saros 10 に対してお客様が期待される性能や成果、運用上の結果を保証するものではありません。

2.保証書の効力

この保証書は、本書に記載された保証規定の条件および期間に基づいて、本保証書が添付されたroborock Saros 10 の無償交換・修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

3.保証の対象

この保証規定による無償交換・修理の対象となるのはroborock Saros 10 の本体、ドックに限ります。アクセサリ類は保証の対象外となりますので、ご了承ください。

4.お客様の負担

この保証規定による無償交換・修理を受けられる場合は、あらかじめRoborockカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

保証対象期間を過ぎての有償修理または、お客様の誤った使用に起因する故障の修理を受けられる場合は、送料などの諸費用はお客様ご自身のご負担になりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

5.保証期間

製品ご購入日より起算した保証書記載の期間とします。ご購入日の記入がない場合は、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、その日を基準に保証期間を設定いたします。

6.個人情報の取り扱い

お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の保証サービス対応およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合があります。また、修理のために、弊社から修理委託している保守会社等に必要な情報を預託する場合がありますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

7.保証を受けられない場合

保証期間内であっても以下に該当する場合は有償修理とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- 1) 本保証書のご提示がない場合。
- 2) 本保証書規定の字句及び本保証書の他の字句が書き換えられている場合。
- 3) 台風、水害、地震、落雷などの自然災害及びその二次災害、火災、公害や異常電圧による、破損や故障、紛失があった場合。
- 4) 取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法または注意事項に反するお取り扱いがあった場合。
- 5) Beijing Roborock Technology Co., Ltd. 以外の第三者またはお客様ご自身による改造、またはご使用の責任に帰すると認められる破損や故障があった場合。
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時、持ち運び時の落下や衝撃、悪条件下での放置など、お取り扱いが不適切なため生じた故障や破損、紛失があった場合。

- 7) ケーブルなど本体以外の付属品の故障や破損、消耗品の補充や仕様によって消耗、摩耗する部品の交換を行う場合。
- 8) 本製品を正規の販売店以外から購入された場合。(フリマサイト、フリマアプリ等の個人間売買サイト等での購入または譲受も含まれます)
- 9) その他、Roborockカスタマーサポートセンターの判断に基づき有償と判断した場合。
- 8.有償修理を受けられない場合
- 以下に該当する場合は有償修理を受けられませんので、あらかじめご了承ください。
- 1) 本製品を日本以外の国で購入した場合。
 - 2) 本製品を日本国外にて使用した場合。
- 9.SB C&S株式会社の免責
- 本保証書が添付されたroborock Saros 10 の故障によって、またはご使用の結果生じた直接、間接の損害については、SB C&S株式会社はその責を一切負わないものとします。
- 10.初期不良について
- 初期不良における交換期間は、ご購入日より 15 日となります。初期不良があった場合は、製品の状態についてRoborockカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- カスタマーサポートにて初期不良と判断した場合は、保証書および製品一式(アクセサリ類、外箱含む)を揃えて、ご購入店舗にお持ちください。
- 新品交換にて対応いたします。
- 11.保証規定の変更
- 弊社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本保証規定の内容を変更できるものとします。この場合、保証の提供条件は変更後の保証内容によるものとします。
- なお、変更後の保証規定については、弊社のWebサイト等により通知するものとし、通知によりお客様は同意したものとみなします。

Saros 10 ロボット掃除機 取扱説明書

モデル：S90VER

製造元：Beijing Roborock Technology Co., Ltd.

製造元の住所：Room 1001, Floor 10, Building 3, Yard 17, Anju Road,
Changping District, Beijing, P.R. China

製品の詳細については、弊社のWebサイト：www.roborock.jpをご覧ください。

販売後のサポートについては、Roborockカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

